

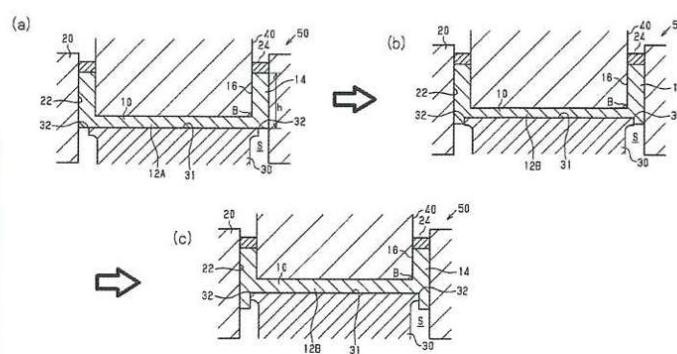
精密鍛造法・精密鍛造品

日本特許 7062321 (出願日:2020年4月22日)
 米国特許 11925972、中国特許 ZL202080005041.3
 ドイツ特許 EP3960328

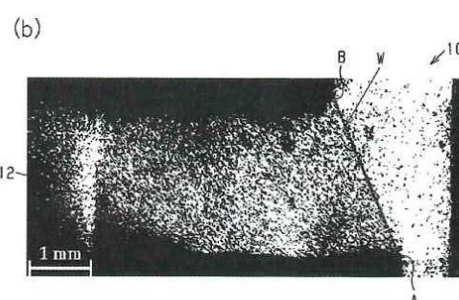
一枚の平板(金属)材料から、冷間鍛造によって縦断面H型の精密鍛造品を従来よりも低圧力下に製造可能。(['切削鍛造']と命名)

開発技術の特徴

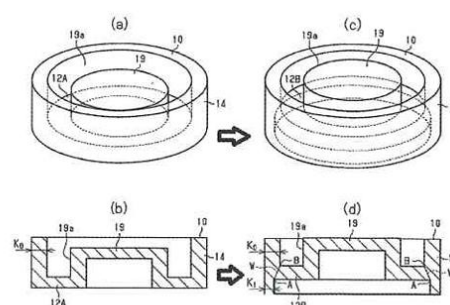
- ▶ 精密鍛造は、高精度部品を低コストで製造可能。
- ▶ 従来の技術では、加工条件を最適化しても、被加工品の引張強さの3倍以上の工具圧力が必要。
- ▶ 本発明は、加工端面の縁部に形成された切刃によって被加工品(金属材料)の一部を削りつつ移動させることにより剪断変形を起こさせることを特徴。



加工ステップ(概念図)



鍛造品の断面写真



鍛造品の例

応用分野

高精度部品を従来品より高強度・低コストで製造できる。自動車部品、電気電子機器などに用いられる精密部品の製造に利用できる。

ライセンス条件

特になし

<お問い合わせ> 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 学術研究・産学官連携推進本部
 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1
 TEL:058-293-2025 E-mail: g_chizai@t.gifu-u.ac.jp